

近畿病院図書室協議会第125回研修会

研修部

日 時：2011年8月27日(土) 10:00～17:00

場 所：藍野大学中央図書館

プログラム：

1. もっとよくわかる医学用語

—ここがポイント！—

高槻赤十字病院 濱口恵子氏

2. リンクリゾルバシステム SFX (エスエフエックス) について

ユサコ西日本営業所 天本聖二氏

3. 医中誌 Web (Ver. 5) のバージョンアップ内容について

NPO 医学中央雑誌刊行会 松田真美氏

4. 藍野大学中央図書館見学

参加者数：45名(研修部4名・講師含む)

1. もっとよくわかる医学用語—ここがポイント！—

医学用語の構成や構造などを実際に即して説明された。ギリシャ・ラテン語源による医学用語を分解・連結の構造を接頭辞+語根+接尾辞という基本形から事例をとおして、さまざまな形に変化する医学用語をときほぐしながら説明された。

2. 医中誌 Web (Ver.5) のバージョンアップ内容について

2011年4月25日よりバージョンアップされた医中誌 Web の内容を実際の画面に即して説明された。過去のログイン内容からのデータをもとによりエンドユーザーに使いやすくなるようにと考え、検索モードの統一からはじまり、絞り込み条件をあらかじめ表示させたり、ソースのみならず掲載誌へもマッピング機能

を加えたり、ヒット文字にハイライトをつけるなど、改良されたさまざまな変更箇所について説明された。

3. リンクリゾルバシステム SFX (エスエフエックス) について

リンクナビゲーションツールである SFX について説明された。利用者がいかに最適な資料へ短時間でアクセスできるかという使い方について、さまざまなリンク先への案内を実際の検索画面を使って行い、検索結果に表示されたリンク先アイコンの紹介など、SFX の利用方法を実践的に説明された。

4. 藍野大学中央図書館見学

日頃あまり見学する機会がない大学図書館を2組に分かれての案内付きで、普段とはちがう多数の図書や多種の雑誌、また学生を対象とした勉強をするための環境(個室など)をみせていただいた。

今回の研修は適切な情報提供のためにというテーマで提供者側のスキルアップについての取り組みであった。利用者の求める情報をいかに理解し、適切かつ迅速に提供するためにはどうしたらよいかを、さまざまなツールを駆使しながらたどり着く道筋を示していただいた。

話をききながら、また施設を見学しながら、適切な資料への到達は提供するわれわれがいかに利用者の気持ちにそえるか、求められるものをいかに的確にひきだしてとらえてそれから、ツールを上手につかひこなすことができるかが大切だと感じた。

(文責：畑 美之/大阪警察病院)